

さくら



令和7年10月6日(月)

確実な一歩



枡野俊明(ますの しゅんみょう)氏は曹洞宗の僧侶です。庭園デザイナーや大学の名誉教授など、さまざまな分野で活躍されています。

枡野氏の著書『小さな悟り』(三笠書房)をもとに夢や目標をかなえるために大切なことを伝えます。

私たちは誰しも、将来の夢や目標について考えることがあります。夢や目標が大きなものであるほど、その多くは考えるだけで終わっているのではないのでしょうか。大きな夢や目標は遠くにあり、一足飛びにそこにたどりつくことはできないものです。

枡野氏はこの本の中で次のように伝えています。「遠くだけを見て、一足飛びにそこに到達しようとする、足下(あしもと)が見えなくなります。そのために石ころやわずかな段差でつまづいたり、転んだりすることになります」。

目標が大きく、それが現実とかけ離れていると、「さあ、進もう!」という時になって何から始めたらいいか分からなくなってしまうこともあります。それでは、どうすれば良いのでしょうか。

登山に例えて考えてみましょう。目の前に高くそびえ立つ山があります。その頂に立つための方法はたった一つしかありません。それは「一歩ずつ進む」ということです。足下をしっかりと確かめながら、歩を進めていくしかありません。そして、頂に立つために「今、何をすべきか」を考え、それを着実に実行することが大切なのです。

遠くにある山頂を見上げることは大切です。しかし、それ以上に大切なことは、「足下」に目を向けることです。それは、授業、部活動、人を大切にすること、家での手伝いなどをしっかり頑張るということです。

時には疲れて、歩みをゆるめたり立ち止まることがあってもかまいません。前に進もうとする姿勢を崩さなければ、山頂は徐々に近づいてくるのです。

皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。そして時間もあります。焦らず、着実に、今日という一日の「確実な一歩」を大切にしていきましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

